

学 年 5年3組  
氏 名 宮崎南帆

題 名 蛍光灯の普及と及ぼす悪影響について

本 文 20行程度

私は2024年の1月から放送されていた「厨房のありす」を観て、驚いたシーンがありました。それは主人公のアリスがスーパーマーケットに買い出しに行くシーンでした。そのとき、ありすはスポーツ用のサングラスをかけていました。蛍光灯を直視できないのです。私はこのシーンを見たとき、蛍光灯には何か悪影響があるのか気になって、調べてみました。

本題に入るのが遅くなりましたが、皆さんは、2027年より蛍光灯が製造中止になるのはご存じですか?交換や修理もできなくなるそうです。理由は、水銀を規制する国際的な条約に対応するためだと、パナソニック株式会社は報じています。蛍光灯は水銀がないと光っていないのと同じ状態になってしまうのです。要するに、水銀は蛍光灯に必要な不可欠というわけです。水銀がこのように国際的な条約において禁止されたのは水俣病のもとになる可能性が高いからです。水俣病の主な症状はめまいのように歩くとふらついてしまうことが多いですが、重症になると言葉を発するのが難しくなってしまう、嗅覚や味覚、視覚が鈍くなってしまうのです。暮らしに役立つ蛍光灯はそんな怖い病気のもとになってしまう可能性があるわけです。

私が蛍光灯の製造中止になったことを知ったのは10月でした。スーパーマーケットやショッピングモールなどの商業施設はもちろん、学校や町役場などの公共の場でも使用される蛍光灯が危険になりうるということを聞き、私は驚きました。そんな蛍光灯の代わりになるのは、LED照明です。それなのに、蛍光灯が製造中止になることを知っていても、LED照明に交換しようとならない人がまだ多数います。私の家に、蛍光灯はありませんが、学校などでは、たくさんの蛍光灯が使用されています。私はそんな人たちに蛍光灯が及ぼす悪影響を知ってもらいたいと思いました。